

新年度予算、事業執行について 町長の決意は



皆川 鉄也 議員

質問 新年度予算、事業執行について町長の決意は。

答弁 新年度は少子化、人口減少対策に重点配分した。合併が10年目を迎える節目の年で、総合振興計画や各種計画策定もあり。県の未来づくり協働プログラムも28年度から事業計画を完成させる重要な年である。地方創生元年と位置付け、計画的な行政運営を図る。

再質問 人口減少に伴う事業等については、対策が講じられており結構

農林産物と加工食品のブランドと販売促進について



笠原 吉範 議員

質問 現在八峰町には農林振興課が担当する「八峰美人」と産業振興課が担当する「はっぼううまし」の2つのブランドがある。

答弁 しいたけ生産者から「市場に出荷できない規格外品が多くもったいないので販売できないか」との相談からカーボ

質問 ①農地中間管理事業の公募状況結果を受け止め、今後の対策は。
②土地基盤整備事業の取り組みについて

答弁 ①秋田県農業公社では、農地の借り手申し込みは44件で331ha、貸し手

農業対策について

質問 ①農地中間管理事業の公募状況結果を受け止め、今後の対策は。
②土地基盤整備事業の取り組みについて

答弁 少子化対策、保育料、給食費、医療費無料化、これらについては単年度で終わるのではなく、最低6年間はやり、その実績を見てその後の対策を考えていく。

質問 ①「八峰町雇用創出活動支援事業」と「定住奨励金」の支給時期について

答弁 「八峰町雇用創出活動支援事業」の助成金は事業が終了し領収書を提出してからの支給だが、個人事業主にはハードルが高い。業者への支払前に支給できないか。「定住奨励金」も転入と同時に支給すべきでは。

質問 「八峰町雇用創出活動支援事業」と「定住奨励金」の支給時期について

答弁 雇用創出活動支援事業は、新たに雇用した者の人件費を対象とした「雇用奨励費」新規事業の初期投資を対象とした「創業支援費」新商品の開発・既存商品の改良のための経費「ものづくり支援事業」等がある。利用延べ件数は136件で事業総額約2億円に上る。

補助金交付要綱には

活用してほしい。

「補助金の交付は、補助事業の完了確認後、補助事業者からの請求により交付するもの」とあり、通常事業終了後に事業実績や領収書のチェックをして補助金交付を行っている。前払いについてはリスクが高いので支払の実績はない。今後も事業申請者には十分説明し理解を求めます。

「定住奨励金」についても住民登録してから1年以上町に居住している「U・Iターン者」を対象としており、転入してから1年間は試行期間としている。



区画整備された水田 (イメージ)

再質問 土地改良区を統合し、全体的な土地基盤整備を考える方法も一つの施策では。

答弁 土地改良区一本化については、それぞれの抱えている事業もあるので、今後の提言を受けながら検討する。



八峰美人ブランド

「補助金の交付は、補助事業の完了確認後、補助事業者からの請求により交付するもの」とあり、通常事業終了後に事業実績や領収書のチェックをして補助金交付を行っている。前払いについてはリスクが高いので支払の実績はない。今後も事業申請者には十分説明し理解を求めます。

「定住奨励金」についても住民登録してから1年以上町に居住している「U・Iターン者」を対象としており、転入してから1年間は試行期間としている。